

2025年度 学校関係者評価結果 について

2026年3月

関西看護専門学校 看護専門課程 看護学科

目次

1. はじめに	1
2. 重点目標	2
3. 2025年度 学校関係者評価委員会報告に示された意見・課題への 取り組み・改善の進め方	2
4. おわりに	3

2025年度 学校関係者評価 結果報告

開催日時：2026年2月3日（火）10：00～12:00

【委員】

敬称略/五十音順

委員	坂口 みつる	枚方公済病院 次長兼看護師長
委員	島村 里香	関西医科大学付属病院 看護部長
委員	挽本 朋子	枚方総合発達医療センター 看護部長
委員	吉武 進	大阪府立枚方市津田高等学校 校長

【学内委員】

学校長 関 真 ・ 顧問 村田 宏雄 ・ 副校長 奥田 尚美
教務部長 木内 有美 ・ 教務主任 山崎 裕美 ・ 教務主任 金澤 愛子
教務副主任 百々 直子 ・ 専任教員 石幸 みゆき
学校事務長 原田 健

1. はじめに

関西看護専門学校は、設立母体である社会福祉法人枚方療育園が経営する施設、及び関連病院で活躍できる看護師を育成することを目的として昭和 50 年に設立された。これまで巣立って行った多くの卒業生が「枚方総合発達医療センター」及び北摂三田福祉の里の「医療福祉センターさくら」を始め、各種医療施設で活躍している。

本校は、社会福祉法人枚方療育園の創設の理念である「社会的弱者に愛を、陽の当たらない子等に光を」を受け継ぐべく、「やさしい手と確かな目で、大切ないのちを護る人を育成する」という教育理念のもと、看護に必要な知識・技術・態度を修得し、感性豊かな人間性と専門職者としての主体性を養い、社会福祉に貢献できる創造性ある看護実践者を育成することを目的とし、日々教育活動にあたっている。

近年の学校評価をめぐる動きでは、専修学校の教育水準の向上と社会的使命を達成するため、本校では平成 20 年に自己点検自己評価委員会を発足し、それ以後、2 年ごとに自己評価を実施している。更に、本校の教育活動が専修学校として社会的使命を十分に果たしているか、自己評価の客観性・透明性を高め、よりよい改善方法を模索するために学校関係者評価を実施し、今年度で 2 回目となる。

2. 重点目標

昨年度(2024年度)の自己点検・自己評価結果の中から、次の2項目を重点目標として取り組むこととした。

【重点目標1】看護基礎教育の充実と学習成果の向上

専修学校としての社会的役割を果たすためには、看護師国家試験の合格率の向上が必須である。看護師国家試験の合格率100%を目指し、教育体制として①習熟度別クラス編成による授業運営②ティーチングアシスタントの活動の推進③国家試験対策を強化していく。

【重点目標2】受験生確保

質の高い教育活動を行うために、受験者数を増加させ確かな学力を有する入学生の確保は重要である。そのため、SNSの活用、ホームページのリニューアルによる広報活動を強化していく。入学試験の工夫として、①受験しやすい日程及び科目設定②活動実績や取得資格に対する優遇措置の導入③高校訪問を強化していく。

3. 学校関係者評価委員会報告に示された意見・課題への取り組み、改善の進め方

以下の内容について検討した。

【重点目標1】看護基礎教育の充実と学習成果の向上

【自己点検評価基準項目4】学修成果：資格-免許の取得率

- 目標値 ①原級留置率:5%以内/退学率:2%以内/年度内の進級及び卒業率:各学年92%以上
 ②令和7年度の卒業生の国家試験合格:100%
 ③本校のディプロマポリシーの達成度80%以上

評価項目	学校関係者評価委員会からの意見・課題	課題への取り組み・改善の進め方
IV 学修成果	■主体的かつ積極的な学習姿勢の育成	<input type="checkbox"/> 「興味を引き出す」教育方略の工夫を啓発する ・発問の工夫や身近な題材の活用、また「動きのある」演習中心の授業の工夫 ・実習や現場体験を早期から取り入れ、「看護の意味」を体験的に理解できるよう支援
	■習熟度別クラス編成の教育的効果を分析し、クラス運営のあり方の見直し	<input type="checkbox"/> 本人の希望や達成度を重視した柔軟なクラス移動を支援する ・「できる」「できない」で分断しない運用 ・成績だけでは看護師としての適性は測れない ・学生が自分の力を発揮できる場を学校がどれだけ用意できるかが鍵
	■国家試験ストレート合格率を学校の強みとして明確化し、教育活動へ反映	<input type="checkbox"/> 1年生から国家試験を意識した国試対策の継続した取り組みを行う <input type="checkbox"/> 各学年連携した国家試験対策を行っていく <input type="checkbox"/> GPA導入による進級基準の明確化を図る <input type="checkbox"/> チューター面接を中心とした、メタ認知能力向上に向けた学習方略を支援する

【重点目標 2】 受験生確保

【自己点検評価基準項目 7】 学生の募集と受け入れ:学生募集活動

目標値 ①受験者数の確保と倍率:2 倍

②資料請求及びオープンキャンパス来場者数:前年度比 20%上昇

評価項目	学校関係者評価委員会からの意見・課題	課題への取り組み・改善の進め方
VII 学生募集と受け入れ	<p>■ 関西看護専門学校の特長を活かした広報活動やより多くの受験生を確保する体制の見直し</p>	<p>□本校の魅力を効果的に伝える、インパクトのあるパンフレットを作成に取り組んでいく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校の設備や学習環境のアピール ・「大きな写真」や「数字」の活用 <p>□学生の笑顔や雰囲気が伝わるビジュアルを強化する</p> <p>□ショート動画を活用した広報の強化/InstagramやTikTok(ティックトック)の充実を図っていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに動画アイコンを並べ、学生の声や施設紹介を短時間で見られるよう工夫 <p>□中学生や高校生への看護体験を強化する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層に看護の魅力伝える活動は、将来の人材確保に直結 <p>□高校訪問の強化を図る</p> <p>□進学情報サイトのマナビジョンを採用する</p> <p>□低学年をターゲットとしたオープンキャンパスの企画を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在校生との交流が中心となった企画の導入

4. おわりに

今回、学校関係者評価委員会を通して、新たに導き出された方策において着実にPDCAサイクルを機能させていくために、対話を繰り返しながら、各教員が自らの教育活動、学生支援に意義を見出しながら実践にあたるよう取り組んでいきたい。

2026年3月
関西看護専門学校
学校関係者評価委員会